



+11月の平日夜間・休日診療のご案内+

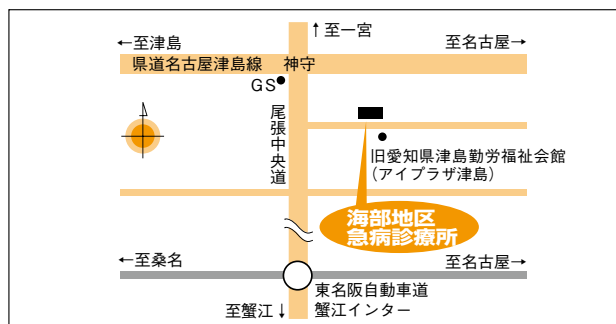
●平日夜間診療・休日診療のお問合せは、下記へお尋ねください。

海部南部消防署 ☎52-0119
救急医療情報センター ☎26-1133
海部地区急病診療所 ☎25-5210

海部地区急病診療所 津島市義原町字郷西37

診療科目	診療日	受付時間
内 小 児 科	土曜	午後6時～午後8時30分
	日曜 祝日・休日	午前9時～午前11時30分 午後1時～午後4時30分 午後6時～午後8時30分
	上記以外の 月曜～金曜	午後8時30分～午後11時
歯 科	日曜 祝日・休日	午前9時～午前11時30分 午後2時～午後4時30分

ホームページ <http://amaq.sakura.ne.jp>



病状等のお問合せは、受付時間内に直接お電話してください。

くすり安心電話

- 内 容 くすり、医療用品等に関する緊急の相談、質問、問合せ
- 電話番号 090-2136-3858
- 対応時間 午後9時～翌朝9時

休日の診療は以下のとおりです。

<外科>は、海部郡・津島市・愛西市・弥富市・あま市内の在宅当番医による輪番制で行っています。

<内科>は、海部地区急病診療所で行っています。

週末の担当病院です

休日診療(外科) 午後5時以降は消防署へお尋ねください。
 専門外の患者さんは、お断りする場合があります。

◆診療時間		土曜	午後1時～午後5時
		日曜・祝日	午前9時～午後5時
3 (木祝)	服部整形外科皮膚科	65-1200	弥富市
5 (土)	奥村整形外科	052-445-5667	大治町
6 (日)	つつみ整形外科クリニック	97-0223	蟹江町
12 (土)	彦坂外科	25-8355	津島市
13 (日)	こじま整形外科	25-9911	愛西市
19 (土)	小林クリニック	052-444-4500	あま市
20 (日)	そぶえ整形外科	67-5010	弥富市
23 (水祝)	わたり整形外科	052-449-6699	あま市
26 (土)	森整形外科クリニック	052-445-5050	あま市
27 (日)	後藤整形外科	25-5511	津島市
12月			
3 (土)	小西整形外科	052-875-7178	あま市
4 (日)	もりや整形外科	052-445-3711	あま市
10 (土)	奥村クリニック	22-2600	津島市
11 (日)	はせ川外科	24-3370	津島市
17 (土)	鈴木整形外科	28-8838	愛西市

災害用伝言ダイヤル171を知っておきましょう

●「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音

171

録音の場合は

1

(×××)×××-××××

録音

ガイダンスが流れます。

ガイダンスが流れます。

※被災地の方も、被災地以外の方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

ガイダンスが流れます。

(30秒以内)

伝言の再生

171

再生の場合は

2

(×××)×××-××××

再生

逆にデメリットとしては、治療期間の長さが挙げられます。通常、早期治療と本格治療をセットで行うことが多いので、早期治療後の経過観察を含めると、幼少期から始めた矯正歯科治療は成長発育が終わるまで続くこととなります。

そのため、お子さん自身が治療に前向きでない場合などは、歯のお手入れ不足からむし歯がでさやすくなってしまうかもしれません。また、取り外し式の装置などを使用する際は、患者さんであるお子さんの協力が必要となり、成果や期間などに影響を与えます。治療途中で十分な協力が得られにくくなる可能性もあります。周囲のご家族のサポートで、お子さんのやる気を持続させてあげることが大切です。

(海部歯科医師会)

歯の健康講座 その411

『成長期の矯正歯科治療！』

矯正歯科治療は大人になってからでも受けることができますが、幼少期から治療を受けることで、歯並び噛み合わせをより理想的な状態に改善できるケースが多くみられます。

骨の成長が止まってしまった大人の場合は、アゴの骨の大きさは手術以外ほとんど変えることができませんが、まだ成長段階にある子どもの場合には治療によって上下のアゴの成長を抑制したり促したりして、コントロールすることでバランスを整えることが可能となり、骨格的な改善をはかることができるからです。

また、使用する矯正装置も比較的シンプルなので済むことが多く、永久歯より乳歯のほうが動きやすいので、弱い力で歯を動かすことができ、痛みが大人に比べて弱いとされており、早期治療のメリットでもあります。

加えて、出っ歯の子どもは日常生活の中で上の前歯をぶつけやすく、早期治療を行うことでこうしたリスクを軽減できるといわれ、転倒などによる歯の損傷を回避でき、ケガの予防につながります。歯並び噛み合わせが悪いと発音や呼吸にも影響を与えることとされ、早期に改善をしておくことより効果的です。

逆にデメリットとしては、治療期間の長さが挙げられます。通常、早期治療と本格治療をセットで行うことが多いので、早期治療後の経過観察を含めると、幼少期から始めた矯正歯科治療は成長発育が終わるまで続くこととなります。

そのため、お子さん自身が治療に前向きでない場合などは、歯のお手入れ不足からむし歯がでさやすくなってしまうかもしれません。また、取り外し式の装置などを使用する際は、患者さんであるお子さんの協力が必要となり、成果や期間などに影響を与えます。治療途中で十分な協力が得られにくくなる可能性もあります。周囲のご家族のサポートで、お子さんのやる気を持続させてあげることが大切です。